

30	水産業・食料問題	学習日	月	日	名前:
----	----------	-----	---	---	-----

1. 日本の水産業

【特色】

漁業人口・漁船数・漁獲高、一人当たりの魚介類消費量で世界的な地位

But 零細な個人経営（5トン未満の小型動力船による個人経営が90%、遠洋漁業は大資本の下に機械化）

漁法の多様化 … 原始的漁法から大規模な母船式まで

冷凍・冷蔵技術と流通技術の発達

多種類の漁獲物 … いわし・あじ・たら・さば・まぐろ・さんま・かつお・いか・貝・海藻類など

採る漁業から（1）への転換

養殖 … 大きくなるまで育て漁獲、栽培漁業 … 途中まで育て放流

（2）… 水産物輸入世界有数、総合商社の活躍

沖合漁業が中心

【問題点】

（3）・水質汚濁・埋め立てなどによる沿岸漁業の停滞

まいわしの減少による沖合漁業の急減（1980～90年代）

石油危機による燃料費の高騰（1973～）、国連海洋法条約（1977）による

（4）の設定

→ 遠洋漁業の衰退

・ 現在は（5）とよぶ

【養殖・加工】

海面養殖 … （6） = 広島（広島湾）・宮城（仙台湾）

（7） = 愛媛（宇和海・宇和島湾）・三重県（志摩半島沿岸）・長崎県（大村湾）

のり = 兵庫・佐賀・福岡・熊本

内水面養殖 … （8） = 鹿児島・愛知・静岡・宮崎

ます … 静岡・長野・山梨

水産加工業 … かつおぶし（乾燥）、燻製、冷凍、缶詰、魚粉、魚油、薬品

2. 食糧問題

世界全体で（9）の生産は（10）増加を上回る伸び
 発展途上国 = 人口増加により不足（格差が大きい） 先進国 = 余裕のある食料供給

【食料不足地域の問題】

（11）による飢餓 … 特に（12）が深刻

自然的要因として、（13）や洪水による被害 … 特に

（14）の砂漠化の問題

人的要因として、

内戦などによる農業の停滞、輸出用作物を自給用作物よりも優先、外国の

（15）進出

（16）の普及により富農層が恩恵を受け、（17）が拡大

【食料過剰地域】

食料自給率が高く、世界各国へ輸出 … アメリカ、カナダ、オーストラリア

食料自給率は低いが経済力があり、輸入により調達可能 … オランダ、エジプト、日本

（18）

<地域別穀物輸入量の推移>

輸入量が増えると、多くの燃料が消費され、環境への負荷をかけるという考え方。食料
 輸入量（トン） × 輸送距離（km）で計算する。

日本はこの数値が高い → （19）が提唱される

（20）

外国で農作物の生産に使用した水を、その国で輸入・消費しているという考え方。

<以下の図は農林水産省HPより>

【日本の食料問題】

農産物の自給率は先進国中最も低い水準

・ 戦後の（21）、農業の経営規模が小さく、国際競争力がない、農産物の輸入自由化

・ 不安定な海外市場 … 人口増加による需要増、経済発展著しい（22）などの輸入急増

安全性の問題

・ （23）や狂牛病・鳥インフルエンザ等の病気

・ 中国製農作物の残留農薬の問題

フードロスが多い → 減らす必要など